

電気通信大学 平成20年度シラバス

授業科目名	情報処理学特論		
英文授業科目名	Advanced Information Processing		
開講年度	2008年度	開講年次	
開講学期	前学期	開講コース・課程	博士前期・後期課程
授業の方法	講義	単位数	2
科目区分	電気通信学研究科-情報通信工学専攻-専門科目		
開講学科・専攻	情報通信工学専攻		
担当教官名	富田 悦次		
居室	非常勤講師		

公開E-Mail	授業関連Webページ
tomita@ice.uec.ac.jp	

【主題および達成目標】
<p>アルゴリズム，データ構造の改良により，いかに劇的に効率改善を達成することが出来るかを，具体的に最大クリーク抽出問題などによって体得し，その応用を図る．</p> <p>これらの基本アルゴリズムは完全に把握した上で，更にその改良を理解し，何らかの応用を考案することを目標とする．</p>

【前もって履修しておくべき科目】
アルゴリズム・データ構造

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
アルゴリズム・データ構造演習，離散数学第二，計算機工学

【教科書等】
授業中に指示/配布する．

【授業内容とその進め方】

1. アルゴリズム + データ構造 (= プログラム)
2. 計算量評価, NP完全/困難性
3. 組合せ最適化問題
4. 最大クリーク抽出アルゴリズム
5. 極大クリーク全列挙アルゴリズム
6. 上記アルゴリズムの具体的な応用

授業は, 基本的に受講者が順次担当をしてゼミ形式で発表・討議を行いながら進める.

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

授業中における発表, レポート, 質疑応答を総合して成績評価を付ける.

【オフィスアワー: 授業相談】

授業の後など, 時間が空いている時には適宜相談に応じる.

【学生へのメッセージ】

情報処理の基本はアルゴリズムとデータ構造であり, これを改良することにより, 桁違いの効率改善を達成することも出来る. また, NP完全性など, 問題自身の困難さをよく理解していることが, 適切な戦略の基本となる.

以上のことに精通していることは, 情報処理分野で指導的立場に立つための必須事項であり, 本授業は具体的問題に即して, 正にこれらのことを確実に修得し, 応用を狙うものである.

電気通信大学 平成20年度シラバス

【その他】